

サステナビリティへの考え方

持続可能な社会の実現を目指し、社会全体でその取り組みが強化されています。

メガチップスにおいてもサステナビリティを巡る課題への対応を経営戦略の重要課題として位置づけ、企業活動や事業を通じてサステナビリティに関する取り組みを推進し、ステークホルダーとの協働により企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

サステナブルな社会の実現に向けて

メガチップスグループは、「革新」により社業の発展を図り、「信頼」により顧客との共存を維持し、「創造」により社会に貢献し続ける存在でありたいという経営理念のもと、企業活動や事業を通じて社会課題の解決に取り組み、「社会・環境・人にやさしい会社」として、より豊かで安心な持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 法令・社会的規範等の遵守

あらゆる法令や国際社会のルールを遵守し、会社の規程・標準に基づき、社会的規範にもとることのない公正で健全な企業活動を行います。社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力には断固とした姿勢で対応し、企業としての社会的責任を果たします。また、リスクマネジメントに継続して取り組み、様々なリスクの予防・低減に努めます。

2. 優れた製品の提供を通じた社会貢献

市場や顧客のニーズを迅速に取り込み、独自の技術力をベースにシステム(機器)のソリューションを提供することを通じて顧客の信頼に応え社会に貢献します。製品の企画力や開発力の向上に最大限努め、新たな価値創造に挑戦します。

3. 人権の尊重と働きやすい職場環境づくり

職場の安全と全ての社員の健康を守るとともに、人権・プライバシーを尊重し、多様な人材が能力を発揮することのできる職場環境の整備と多様な働き方を推進します。また、人格や個性を尊重しつつ、社員一人一人が主体性と創造力を発揮できる企業風土を醸成し、専門性と創造性に富む個性豊かな人材を育成します。

4. 取引先・サプライヤーとの公正な取引の推進

サプライヤーをはじめとする取引先と健全な関係を構築し、各国の法令の遵守と国際的なルール・慣行に配慮し、自由な競争のもと公正な取引を行うとともに、取引先との間における強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止を徹底します。また、サプライチェーンにおける人権侵害をはじめとする様々な課題の把握に努め、持続可能なサプライチェーンの構築を推進します。

5. ステークホルダーの尊重

全てのステークホルダーの立場を尊重するとともに、積極的な情報開示とコミュニケーションにより信頼関係を築き、ステークホルダーとの協働により社会課題の解決に取り組みます。また、地域社会の伝統・文化を尊重して人々との信頼関係を築き、地域社会の発展に貢献します。

6. 地球環境の保全、豊かな社会づくりへの貢献

より安全な未来社会を実現するために環境保全を推進することが必要不可欠であるとの考えのもと、「環境と経営の共生」を実現することで、持続可能な地球環境の実現に貢献します。環境に配慮した製品づくり、製造における資源利用の効率化や化学物質の削減、輸送時のエネルギー削減など、事業活動に伴う環境負荷の削減に継続的に取り組みます。

サステナビリティに関する取り組み

ガバナンス

- 取締役会・監査役会の透明性および独立性の確保
- 内部統制システムの整備・運用
- 災害などに対する危機管理体制の整備
- コンプライアンス・情報セキュリティ等、人材教育の実施

環境

- ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムの構築
- 高速化、小型化、低消費電力の製品設計
- 通信技術を活用した再生可能エネルギー利用の促進
- 持続可能なサプライチェーンの構築
- エコオフィス活動の推進

MegaChips

「革新」により社業の発展を図り
「信頼」により顧客との共存を維持し
「創造」により社会に貢献し続ける
存在でありたい。

社会

- ダイバーシティ・多様な働き方の推進
- 従業員の自己啓発・教育支援
- 大学への寄付を通じた人材育成
- 大学との共同研究等を通じた技術開発の促進



メガチップスは、国際標準規格に基づいた品質マネジメントシステムを確立し、品質の管理を徹底することで、お客様に信頼いただける高品質な製品を提供しています。

品質方針

当社は、外部に生産を委託する「ファブレス方式」と独自の保有技術を基盤とする事業展開を最大の強みとして、企画・研究・開発段階から生産・出荷・サービスにいたる全ての業務の品質を向上させ、お客様にご満足を提供することを約束します。

品質マネジメントシステムの構築および実施、またその有効性を継続的に改善するために以下の事項を実施します。

- ・法精神を尊重し、各種法令を守り、倫理的責任を遵守し、お客様要求の達成に取り組みます。
- ・全社および各部門の品質目標を設定し、目標達成への活動を推進します。
- ・品質マネジメントシステムの有効性確認および品質方針の適切性を持続するためにマネジメントレビューを実施します。
- ・品質方針を、全体集札、掲示、研修、教育訓練などでも全従業員に周知徹底すると共に、職位・職能に応じて展開し、方針管理を行います。

ISO9001 認証を取得

ISO9001は、製品の品質保証体制と顧客満足向上を目的とした品質マネジメントシステムの国際標準規格です。

当社は、ISO9001を基本に車載製品に対する要求にも対応した品質マネジメント体制を構築し、顧客満足向上のための改善を実行することで、より高品質な製品・サービスをお客様にお届けする体制を整えています。

ISO9001の概要

審査登録機関	日本環境認証機構 (JACO)
登録会社名	株式会社メガチップス
事業所	本社：大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル 東京事業所：東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル 幕張事業所：千葉県美浜区中瀬1丁目3番地 幕張テクノガーデンB棟
認証範囲	システムLSI製品の企画、設計開発および製造委託
除外項目	なし
登録日	2006年3月27日
登録証番号	QC05J0270
有効期限	2024年3月26日



製造委託先と連携して品質向上活動を定期的に行っています。

メガチップスにとって人財(人材)は企業の成長に欠かせない存在です。従業員が能力を発し、最大限の成果を挙げられるよう、ダイバーシティや多様な働き方の推進、社員教育の充実に取り組んでいます。

ダイバーシティ推進

当社は、女性社員のキャリア形成やリーダーシップの発揮を促進し、女性が活躍できる仕組みを作るとともに、性別に関わらず全従業員が仕事と生活を両立させ、その能力を發揮できる就業環境の整備を行っています。

女性活躍の推進

「女性リーダー研修」や「エンパワメントプログラム」といったさまざまな施策を実施するなど、女性社員のスキルアップ、キャリアアップを会社全体で支援しています。



リモートで実施した研修の様子

多様な働き方の推進

当社は、企業の社会的存在意義を高めるには付加価値生産性の高い働き方への転換が不可欠であり、多様な人材が活躍するには仕事と生活のバランスが重要であると考えています。こうした目的に沿った働き方改革を実現するため、従業員がそれぞれの個性やスキルを活かして働くことができる環境の整備を積極的に行っています。

育児休暇

労働基準法で定める産前産後休暇とは別に、男女の区別なく出生日以降最大2年の育児休暇取得が可能です。現在までこの制度を利用した社員の職場復帰率は100%です。(2022年6月末時点)

介護休暇

介護が必要な状態にある家族を介護することを希望する社員は、申請により介護休暇が取得できます。

在宅勤務/完全フレックス勤務

業務上の支障がない範囲で在宅勤務が可能です。既存の完全フレックス勤務(コアタイム無)との相乗効果で、従業員の活躍機会を効率的に確保しています。

シニア社員のセカンドキャリア支援 (フレックスワーク制度)

満56歳以降の従業員に対して、本人が希望・申請し承認された場合に、就業時間、基本給を共に75%とする、定年後の多様な働き方を見据えた制度で、副業等セカンドキャリアの準備や家族の介護など、様々なライフイベントの充実に支援します。

自己啓発・教育支援

人が成長するもっとも有効な方法は「自らキャリアを切り開くこと」という考え方から、従業員が自ら目指すキャリアを設定して、自律的に能力開発することを支援しています。

語学支援

「語学は自分のために、自分で学ぶもの」という基本的な考えのもと、外部サービスによる外国語習得に取り組む従業員には受講料を補助します。

E-ラーニングによる階層別研修

従業員がスキル面、意識面、行動面でさらなる向上が図れるよう、職位や役割に応じた教育研修を継続的に行っています。在宅勤務等の勤務体制下であってもE-ラーニングによる研修で平等に教育機会を確保しています。

メガチップスは事業活動、製品およびサービスを通じて、地球環境保全を推進することを事業経営の重要な一要素と位置付け、持続可能な社会の実現に貢献しています。

環境マネジメントシステム

より安全な未来社会を実現するために環境保全を推進することは、企業にとって必要不可欠な取り組みです。メガチップスは「環境と経営の共生」を実現し、環境に貢献することを目的に、国際規格ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築しています。



主な環境保全活動

- 環境影響を考慮し、製品の低消費電力化・小型化などに取り組む「環境配慮、高循環型製品づくり」
- 当社独自のグリーン調達ガイドラインに基づく「環境負荷化学物質の削減・グリーン調達」
- 事業所内での省エネルギー・省資源に取り組む「エコオフィス活動の推進」
- コンプライアンスとしての「紛争鉱物に対する規制の順守」および「法令、その他要求事項の順守」

ISO14001認証を取得

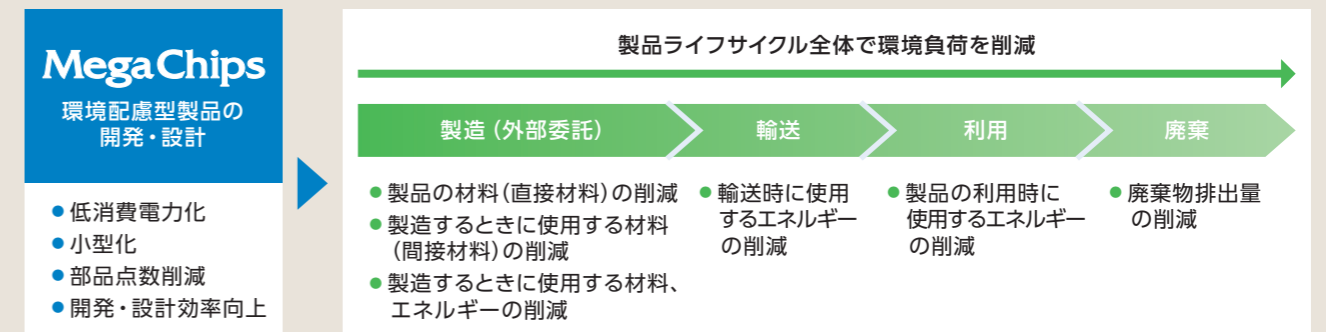
ISO14001は、企業活動が環境に及ぼす影響を最小限にいとめることを目的に定められた環境マネジメントシステムの国際標準規格です。当社は、ISO14001に基づく環境マネジメント体制を構築し、地球環境負荷の低減に継続的に取り組んでいます。



環境配慮型製品

当社は、「革新」により社業の発展を図り、「信頼」により顧客との共存を維持し、「創造」により社会に貢献し続けることを理念として成長してきました。この経営理念のもと、独自の技術力で低消費電力化、小型化、高速処理化といったLSIの機能・性能および品質の向上に取り組み、省エネルギー・省資源化を実現するソリューションを提供することで、お客様とともに発展・成長し、地球環境の保全に貢献していきます。

環境配慮型製品の開発による主な環境負荷削減



製品事例

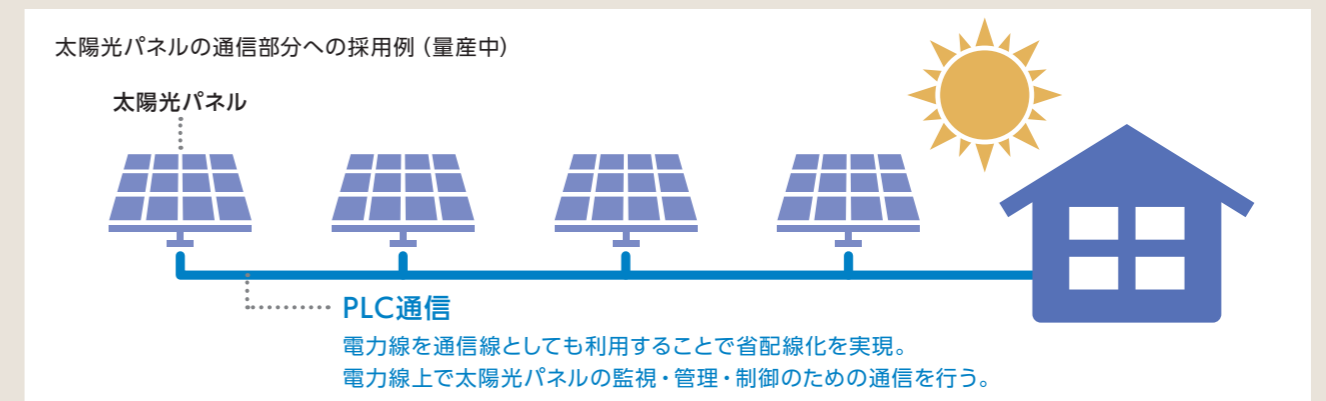
例1. 低消費電力のASIC設計

環境への配慮が重要視される現在はASIC (Application Specific Integrated Circuit) 開発における低消費電力の追求が欠かせません。メガチップスはファブレスの強みを活かし、世界中のウエハ製造ベンダーが提供する「低消費電力向け製造プロセス」と、IPベンダーが提供する「低消費電力向け特殊ライブラリ」を意欲的に採用することでASICの大幅な消費電力削減を達成しています。直近の具体的な事例では、CMOSTランジスタの動作電圧をダイナミックにコントロールする技術の適用により、それらを採用しなかった場合に比べて50%を超える消費電力の削減を達成しています。

これらのASICは産業機器、通信機器、IoTデバイスなどの幅広いアプリケーションにおいて使用され、環境に配慮しつつ人々の暮らしをサポートすることに貢献します。

例2. 高速PLC通信による再生可能エネルギー利用への寄与

PLC(Power line Communication)とは、電力線を通信線としても使用する技術です。当社の高速PLC通信向けLSIは太陽光パネルにも採用され、再生可能エネルギーの利用拡大に貢献しています。また、電力の需給バランスを安定させるシステムへの適用も進んでいます。



気候変動に対する取り組み

気候変動は、人類の生活全体に影響を与えるだけでなく、安全保障、地政学的環境、自然資源に対する大きな脅威ともなる社会全体で取り組むべき重要課題です。メガチップスはTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に基づき、今後の気候変動に関連する事象をリスクと捉え対応すると同時に、新たな機会を見出し、経営戦略に活かしていきます。



ガバナンス

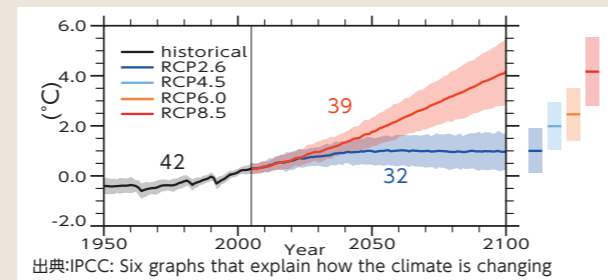
当社は気候変動によってもたらされる財務影響の分析とその対応を、関係部門の代表者が参加するチームが行い、コーポレート・ガバナンス体制(P36)において運用しています。

関係部門においては、気候変動の影響についてリスクと機会の両面から分析を行い把握するとともに、特定したリスクと機会への対応の検討を進め、TCFD提言に基づく気候変動に関連する情報開示の充実に努めていきます。

戦略(シナリオ分析)

当社では気候変動によるインパクトを踏まえ、世界平均気温の上昇を「2℃」に抑制する社会を目指す上で、2030年度における気温の「2℃上昇」および「4℃上昇」の2つのシナリオを想定したリスクと機会を洗い出し、事業への影響度の分析と対応策の検討を行いました。引き続き、シナリオ分析の精度を高め、目標値の設定やその達成に向けた各取り組みの推進に役立てていきます。

世界平均地上気温の推移



リスクと機会

1. リスクの認識と対応

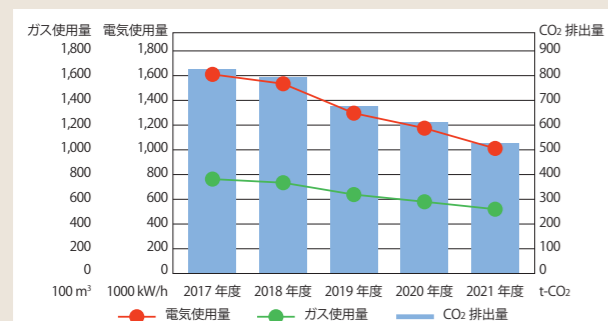
気候変動に対応した低炭素経済への移行リスクと財務への影響

当社は製品の設計・開発に特化し、生産を外部に委託するファブレスメーカーであり、自社で製造設備を保有していません。そのため建物や設備などの長期資産への気候変動の影響は軽微です。

また、当社は、低炭素経済に対応した製品開発のための研究開発費の増加に備え、自己資本の充実を図っており、必要資金の需要の増加にも十分対応できる強固な財務基盤を確立しています。

なお、国内の事業所におけるエネルギー使用量については、下表のとおりです。

引き続き、エネルギー使用量のデータを収集し管理するとともに、省エネルギー・省資源に配慮した事業活動を行っていきます。



年度	電気使用量 (kWh)	ガス使用量 (m³)	CO2 排出量 (t-CO2)
2017年度	1,610,296	76,396	819
2018年度	1,534,428	73,407	788
2019年度	1,301,397	63,824	672
2020年度	1,175,139	58,133	607
2021年度	1,011,365	52,019	521

低炭素経済への移行を想定した財務影響のあるリスク項目としては、以下のものを想定しています。

- ・環境関連法規制の強化による人件費の上昇
- ・低炭素経済に対応した顧客製品向けのLSI製品の開発費の増加
- ・消費者行動の変化による顧客製品の需要の減少
- ・生産委託先におけるエネルギーコストの上昇、原材料費の増加
- ・LSI製品の輸送コストの上昇

異常気象による物理的リスクと財務への影響

異常気象による物理的リスクの財務影響のある項目としては、生産委託先における製造能力の低下や、気温の上昇による空調管理のためのエネルギーコストの上昇を想定しています。

財務影響のあるリスク項目についての対応

上記に挙げたリスク項目についての当社の対応として、以下を検討・実施していきます。

- ・製造委託先と共同でのGHGの排出量の把握と削減
- ・従来の開発プロセスの見直しによる開発費の削減
- ・低炭素経済に対応した低消費電力型LSI製品の開発
- ・新たな事業分野のビジネス育成の強化
- ・サプライチェーンのバックアップ体制の強化
- ・製造委託先との連携強化による情報収集体制の強化およびBCP体制の再構築
- ・製造委託先企業の範囲拡充、複数拠点化の推進

2. 機会の認識と取り組み

気候変動に関する機会

気候変動の緩和や気候変動に対する取り組みが進んでいく中でもたらされる機会については、LSI製品の需要増大による収益機会の確保、省エネ対応製品を通じた社会貢献および認知度の向上、柔軟な原材料調達による新たな製品開発への積極的投資などを想定しています。

具体的には、製品の販売機会として、低消費電力のLSI製品、顧客製品の省エネ化・小型化に対応するLSI製品の市場への供給量が増加し、製品開発面では、顧客ニーズに応える先進的な技術開発や研究開発を推進する積極的な開発投資の必要性が高まります。また、原材料の調達条件が緩和されると新しい素材を使ったLSI製品の開発や、既存製品の生産の安定化・効率化によるコストの減少が可能となります。

機会に対する取り組み

気候変動に関する機会をビジネスにつなげていくために、低炭素社会に対応した、低消費電力LSI製品や顧客製品の省エネ・小型化に貢献するLSI製品を市場に供給し、顧客のニーズにあった提案型営業を推進します。

また、新しい原材料を使った先進的製品の開発への投資や、市場の拡大が見込まれる事業分野へ経営資源を集中し、ビジネス拡大を図るとともに、新規事業創出のため、国内外における企業・大学との連携の推進や、CVCファンドによる米国でのスタートアップ企業との提携や事業投資を行っていきます。

リスク管理

当社は、気候変動によってもたらされるリスクとその影響についての分析、評価、管理を関係部門の代表者が参加するチームが行い、取締役会に報告する体制で、リスクマネジメントを行っていきます。

サプライチェーンへの取り組み

メガチップスは創業以来スムーズなサプライチェーンと経験豊富なファウンドリパートナーとの強固な信頼関係を築き、高いモノづくり品質と安定供給を実現する生産体制を構築しています。

パートナーの選定・認定

ファブレス企業である当社にとって、ウエハ生産や組立・テストの委託先や各種部材の調達先などのパートナーは重要な経営資源の一つです。パートナーの選定にあたっては厳格な審査基準を設けるほか、定期評価を実施してい

ます。そのため、品質・技術が高いことに加え、CSRやサステナビリティにも配慮している業界トップクラスの企業をパートナーとして認定しています。

委託先選定管理 (左ページ、サプライチェーンマネジメントの図の●参照)

LSI製品の量産品の品質に影響を与える委託先(生産委託先・仕入先)に関しては、新規製品において新しい委託先を採用する場合、並びに既存製品の委託先を切り替える場合に、その候補の資質について審査を実施しています。審査項目は「品質認証」「価格」「納期」「顧客対応」「技術対応力」「与信調査」です。審査に合格した委託先候補のみ、委託先認定に進みます。

委託先認定 (左ページ、サプライチェーンマネジメントの図の●参照)

選定された委託先に対し、新規取引や既存の認定範囲に含まれない取引の開始可否を判断する際に認定を実施しています。「品質マネジメントシステム(QMS)」「環境関連物質管理」「品質管理」「生産技術(製造技術)」「生産管理」の5項目によって審査しています。定期評価も行っており、得点率が基準を下回る場合や重大不具合・変更が発生した場合には認定を取り消しています。取引再開には再認定が必要です。

グリーン企業認定 (左ページ、サプライチェーンマネジメントの図の●参照)

すべての仕入先企業を対象として、「グリーン企業認定標準」に基づき、取引先企業の環境および化学物質管理を評価・判定しています。評価手順は業界団体であるJEITA(電子情報技術産業協会)が作成した「化学物質管理ガイドライン」の手順ののっています。

パートナー管理

主要な委託先と週次・月次などの定期ミーティングを実施し、委託先の生産・品質状況をタイムリーに把握するほか、情報交換・共有などを図っています。

メガチップス紛争鉱物対応方針

アフリカのコンゴ民主共和国(DRC)および周辺(9ヶ)国で採掘される鉱物資源は、人権侵害、環境破壊などを引き起こしている武装勢力の資金源となっている懸念があります。これを受けて、米国金融規制改革法(2010年7月)では「タンタル、錫、タングステン、金」を紛争鉱物と定義し、自社製品に使用される紛争鉱物が、これらの地域の武装勢力の資金源となっているかどうかを把握し、年次で開示することを義務付けました。

メガチップスは、お客様の安心できる調達に貢献するべく、武装勢力の資金源となる紛争鉱物を、当社製品には使用しないことを基本方針とし、以下の取り組みを行っています。

1. サプライチェーンを遡る調査により紛争鉱物の製錬業者を特定し、その製錬業者がDRCおよび周辺国における武装勢力の資金源となる鉱物を調達していない事を国際統一フォーマットCMRTおよびCRTを使って確認します。
2. サプライヤー様に対しては、武装勢力の資金源となる紛争鉱物不使用に賛同いただくとともに、紛争鉱物製錬業者特定調査への積極的な協力をお願いしています。



サプライチェーンマネジメント

